

### Q 防災計画上の避難所の在り方



諏訪本 光 議員

A 〈町長〉

熊野団地地区都市再生整備計画事業で設置し、町が管理運営する。新たな整備予定はない。

〔Q1〕 平成27年度に設置した海上側地区の一時避難所と別物と考えてよいか。

〔A1〕 「海上側地区防災集会所」と今回の「熊野団地防災センター」は、設置の経緯や目的、管理運営も異なる。

〔Q2〕 「避難所」「一時避難所」「一時退避場所」などの語句が混在している。災害時、混乱を引き起こす要因になる。施設の位置付けを含め、明確にすべきではないか。

〔A2〕 地域防災計画の中で、見直しを進めている。

〔Q3〕 町が指定、運営する13力所の避難所以外の自治会館や集会所は、

自治会長が管理運営することによいか。

〔A3〕 地震等の予期できない災害時には、そういうこともありうる。

〔Q4〕 指定する13力所の避難所は、町の職員が運営することだが、災害時に職員が来られないことも想定する必要があるのでは。

〔A4〕 施設のセキュリティの解除など町の職員が対応する。少しでも早く対応できるように訓練を重ねる。



### Q 町の防災、特に大雨時の洪水対策は



中原 裕侑 議員

A 〈町長〉

今後も県に対し、砂防堰堤の整備や県管理河川の浚渫について要望をしていく。 ※浚渫とは：豪雨の際に、洪水がなめらかに流下できるように川底を掘り下げること。

〔Q1〕 最近多発する大雨や洪水等は、事前に対処できるのではないかと思うが、砂防堰堤の現状は。また、今後の計画は。

〔A1〕 現在、町内には土石流災害危険渓流が112溪流、河川を流れる土砂や流木をせきとめる砂防堰堤が22基、山林の山崩れを防ぐ治山堰堤が19基整備されている。砂防堰堤の建設、維持管理については広島県西部建設事務所が、治山堰堤については国及び広島県西部農林事務所が行っている。今後の砂防堰堤の建設計画については、現在事業中の新宮地区の雲母川砂防堰堤が、平成32年度までの5カ年での事業実施箇所として計画していると伺っている。

〔Q2〕 熊野町を流れる川、主に二河川と熊野川については県管理河川である。浚渫について、災害が起きれば県が対応すると思うが、町として事前に何かできることはないのか。

〔A2〕 町内でも河川内に土砂がたまり、河川断面が阻害されている箇所が多く見受けられるため、県管理の河川については、河川管理に支障があるものから県に対応を要望している。今後の浚渫計画については、県管理の河川では平成28年度から32年度までの5カ年計画において、熊野川の新宮地区松ヶ丘団地付近と平谷川の石神緑地付近を予定していると伺っている。引き続き護岸改修などと合わせて要望をしていく。

### 公共施設 管理・整備

### Q 〈片川 学 議員〉 グラウンドゴルフ場の建設計画は

A 〈町長〉

町内のグラウンドゴルフ人口の増加、町民グラウンドの過密化、健康寿命の延伸の観点から、整備を計画している。

〔Q1〕 東日本大震災での石巻市の大川小学校の例では、指揮命令系統が徹底できなかったため多くの被災者が出た。現場によるが、直接住民に指揮命令するのは誰になるか。

〔A1〕 避難所では町の職員になる。学校であれば校長、公民館であれば館長が本部と確認しながら対応することになる。

〔Q2〕 想定を超えた時、大きな災害が発生する。マニュアルどおりに対応はできないことが多いが、災害時の対応マニュアルは作成しているか。

〔A2〕 セキュリティや施錠の解除については施設ごとに作成している。



〔Q3〕 町は「郷土愛護、隣保協同の精神」を基調に自主防災組織を育成するとしているが、どのようにして進めるのか。

〔A3〕 自主防災組織の整備は順調には進んでいない。この現状は容認できないことであり、「自助」「共助」を大切に、新たに既存の団体との連携も検討したい。

〔Q4〕 大会の度に何年も前から駐車場が足りないという問題がある。グラウンドゴルフ場が整備されても、駐車場がないから行けないという苦情が出るのではないか。

〔A4〕 町民体育館の裏側に34台程度増設できる。大きな大会時には、第四小学校を借りている。

〔Q5〕 高齢者が多いため、トイレは近くにするといい計画は。

〔A5〕 今の段階ではない。



〔Q2〕 現在、町民体育館の駐車場は何台駐車可能なか。

〔A2〕 手元に台数を確認できるものがないが、大きな大会をする時には駐車場が足りないのが熊野高校の駐車場を借りている。

〔Q3〕 県の施設のため、必ず貸していただけるわ